

事業名 : 自然エネルギーの普及モデル構築等支援委託業務	
会議名称	上小地域自然エネルギー普及検討会
開催日時	平成 24 年 3 月 10 日 (月) 15:00 ~17:00
実施場所	上田情報ライブラリー 4F
参加者	24 名
講師	信州大学繊維学部准教授 高橋伸英氏 バイオマス部会長 松井 義信氏 NPO もくり 余頃 友康氏
記録者	宮下 喬一

実施内容

末広会長の自然エネルギー上小ネットの目指す方向のあいさつで始まりしました。引き続き、3人の講師の講演後、ワールドカフェが行われました。

【上小地域の自然エネルギーの可能性について】信州大学繊維学部准教授 高橋伸英氏

冒頭、エネルギーを取り巻く環境変化と上田市の現状についてについて説明があった。自然エネルギーの太陽光発電など6の分野ごとにポテンシャルについて説明があった。地理学的に太陽光発電、太陽熱利用はポテンシャルが高い。小水力発電も利用可能地点が多い。バイオマスも発電は効率が悪いが熱利用が有効だ。その他は有効性が薄い。

【バイオマス事業の実態調査報告について】バイオマス副部課長

自然エネルギー信州ネットバイオマス部会として視察見学を実施した12箇所の概要の説明があった。ストーブ、薪センター、薪割り機械

【森林整備と薪利用】NPOもくり 余頃 友康氏

昨年間伐の補助金制度が変更になり、間伐材が多量に搬出されることが想定される。材として利用されないものをバイオマスエネルギーとして有効利用したい。それには、薪ステーションが必要であるので、設置に向けて進めている。あと、NPOの活動取り組みの紹介があった。

以上